



題字は松井岳洋筆

No. 424
平成 26 年 7 月

発行
(公社) 日本詩吟学院 認可

碩心会

発行者 内山岳青
編集者 伊藤岳光
神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28
Tel / Fax. 0466-33-2228
URL <http://sekishin.holy.jp>

平成26年度
新部長・地区長5名の抱負



〔右より〕
副会長(兼) 企画部長 上村岳章
常任理事 葉山地区長 行谷隆岳
副会長(兼) 教務部長 高橋岳之
常任理事 青少年部長 加藤岳美
普及部長 鈴木岳賢

副会長(兼) 企画部長 上村岳章
新しい2名の副部長(小泉貴岳・村上遥山)

を迎えてスタートします。まずは前任者の業務をしっかりと引き継ぎ、自分たちの糧とするようにし、そのうえで新しい企画、計画を立案、実行してゆくことが肝要かと思われま。これからも会発展のため、会員のため努力をいたしますのでご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

副会長(兼) 教務部長 高橋岳之

総会が終わり、企画部長から教務部長へ替わることとなり、先日引き継ぎを行いました。簡潔、明瞭そして正確な書類の整理に頭の高さがる思いでした。幸せな事に副部長留任の為指導及び講習会、研修会等の計画、立案、実施の準備にと誠実に真剣に取り組んでいきたいと思えます。会員の方々の率直なご意見ご希望をお待ちしております。

青少年部長 加藤岳美

この度、青少年部長を拝命し青少年活動の活性化に取り組んでまいります。まずは、青

少年会員の獲得です。会員が減少する中で当会の青少年は僅か3名で厳しい現状です。普及部では毎月体験教室を行っていますが、身内からの呼びかけが必要ではないでしょうか。副部長と共に努力しますが子どもさん、お孫さん等の説得にご協力お願い致します。

普及部長 鈴木岳賢

この度、普及部長を務めさせて頂きます鈴木岳賢です。歴史ある碩心会、会員増強の為微力ではありますが「人には人が付いてくる。人は心」と私の信念と誇りを持ち原点に戻り人の輪を大切に、稽古、承嗣の気持ちで副部長と共に会長はじめ諸先生方、会員の皆様にご指導とご協力を頂き普及活動に努力してまいります。よろしくお願い申し上げます。

葉山地区長 行谷隆岳

何事も初めありき、中山・吉田副地区長共々新たな気持ちでスタートします。普及・教務部長の経験をふまえ、努力する所存です。

特に「温習会」「吟詠と詩舞の集い」等は会員の皆さんが主役の大会です。皆さんのご意見を反映した更に良い会にしたいので是非ご一報下さい。新しい事にも挑戦し新会員を増やしましょう。よろしく申し上げます。

平成26年碩心会総会開催

日時 5月30日(金) 午前10時～12時
場所 逗子交流センター12階、第2・3
会議室

出席者 38名 委任状9名 出席率90.4%

開会の辞、「碩心会の詩」合吟の後会長より「会員数の動向は会にとり重要で、一昨年より吟技の向上と会員数の増強を掲げてきたが、十分な成果を挙げたとはいえず反省している。吟技の向上については各教室での指導・練習が何より大事だと思う。会員増強については、レッツ詩吟を中心に頑張っているが、高齢その他の理由で退会者が多かったことは残念であった。」との挨拶がありました。規定により会長が議長になり審議に入りま

- ①平成25年度事業報告の件
資料に基づき会長が説明
- ②平成25年度収入支出決算報告の件
資料に基づき磯村経理部長、小野審査業務部長、小菅教務部長が説明
- ③監事より会計監査報告があり、1号、2号議案が承認されました。
- ④平成26年度事業計画及び収入支出予算(案)承認の件
資料に基づき内山会長、磯村経理部長が説明。審議の上承認されました。

⑤任期満了による新役員承認の件

平成26、27年度役員が選出され承認されました。

⑥その他

今年10月19日に、神静地区主幹で「第125回全国吟道大会」が開催されるため、「相州岳風連合吟詠大会」、「神奈川岳風連合吟詠大会」は行われない。

平成26・27年度 碩心会新役員

- 会長 内山岳青
- 副会長 上村岳章 磯村岳朋 高橋岳之
- 総務部 部長 有友嘉岳
- 副部長 小金岳智 ○大塚洋風
- 審査業務部 部長 小野岳祥
- 副部長 鴨原隆岳
- 企画部 部長 ○上村岳章
- 副部長 ○小泉貴岳 ○村上遥山
- 教務部 部長 ○高橋岳之
- 副部長 大坪岳久 根岸岳啓
- 広報部 部長 伊藤岳光
- 副部長 高見湘岳 森 祐山
- 常盤仙山
- 経理部 部長 磯村岳朋
- 副部長 ○古敷谷江山
- 青少年部 部長 ○加藤岳美
- 副部長 由谷悦風 ○加藤典泉
- 普及部 部長 ○鈴木岳賢
- 副部長 原田岳義 根岸和風
- 照沼夏山

逗子地区 地区長 菊池岳悠

副地区長 ○森 岳暎

○菊池世祐

葉山地区 地区長 ○行谷隆岳

副地区長 中山辰山 ○吉田桜泉

監事 森 岳靚 ○山崎勝風

顧問 加藤岳洵

参与 杉山岳雪 村田岳瀨

宇都宮岳徳 立澤岳晴

鈴木岳倅

参与 ○市川岳穂

【○は新任】

行事予定

碩心会夏季吟道講座

日時 8月23日(土) 受付9時20分

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

碩心会秋季審査会

日時 9月20日(土)

場所 久木会館

全国優秀吟者吟道大会

日時 9月21日(日)

場所 東京メルパルクホール

第5回尚歯会神奈川吟詠大会

日時 9月25日(木) 開会10時

場所 神奈川公会堂

第125回全国吟道大会

日時 10月19日(日)

場所 三島文化会館

普及の為に吟詠発表会

日時 10月25日(土) 開会13時

場所 関東学院大学

昇伝段位認許

(平成26年7月1日付)

皆伝 1名

106 上村炎岳

九段 1名

98 鴨原隆岳

十段 4名

83 水留裕岳

84 行谷隆岳

85 山本新岳

86 黒田慶岳

碩心会吟詠温習会

6月21日(土) 碩心会吟詠温習会が葉山町福祉文化会館で開催されました。

3行詩の2人での連吟は随所に熱吟が見られ好感を持ちました。一般吟詠は素晴らしい吟が多く、順番が進むにつれて情感及び迫力が感ぜられました。

式典では本年4月1日付の許証授与がありました。

会長挨拶では、「この温習会は基本に立ち返って、一人ひとりの声が聞けるよう合吟なしの独吟と連吟のみとしました。連吟は3名1組で例年15・16チームと限られた範囲だったものを、本年度は31チームと倍増しました。このため厳密な意味でのコンクール形式にはならないものの、多くの人を練成して吟技を向上できると思っています。また、総本

部は2年後に創立80周年を迎えます。今の会館では古く手狭になったので募金の要望があり、碩心会では2年間で納入することになりました。皆様の協力をお願いしたい」旨ありました。

昼食後連吟コンクールが開始されました。

吟は緊張のためか絶句するもの、練習過多による変声、途中音程が変わるもの、诗情不十分なもの、異なる音程での発声等がありました。一方诗情豊かで引き込まれて聞き入り迫力ある素晴らしい吟もありました。

講評では「大きい吟声良かった。礼をしてからマイク調整していた者がいた。絶句、誤読があったがすみません・失敗した等は不要。コンクールで漢詩紙を持っていたのは不可。名詞の読みが甘い。余韻の止めが甘い。律詩を3人で吟ずるとき最後の行の吟声は全員合う必要がある。母音の口の開きをきちんとする必要がある」旨がありました。

入賞者は次のとおりです。①酔吟、品川・森

②渚、原田・久永・常盤 ③真澄、菊池・青木・池田 ④東伏見、有友・山本・村田

⑤渚、菊池・今原・亀井 ⑥真澄、森・星野・嶋津 ⑦相洋、齋藤・村上・森 ⑧相洋、加藤・西岡・有馬【○数字は出吟番号】

大会終了後、本年度で最後となる温習会後の懇親会が行われ、親睦を深めることができました。 高見

神静地区吟詠大会

5月22日(木)、小田原市民文化会館に於いて標記大会が開催された。小田原に向かう車窓は艶やかな新緑を映して流れる。

大会は、合吟で全国吟道大会、独吟では優秀吟者吟道大会への出場を決めるコンクール(地区予選)とあつて、壇上には参加する神静地区認可団体の会旗24旗が並び、満席の大ホールは夫々の会を代表する吟者の入賞を期待する応援の熱気に溢れ、目指す大会への出場権を賭ける緊張感が漲っていた。

コンクールは独吟漢詩の部―30人、独吟和歌の部―30人、合吟の部―29組が出場。練習を重ねた成果の競吟は昼食を挟んで午前、午後に亘る。満場耳敏て熱吟に倦むことがない。審査講評―「総じて傑出した吟が少なかった」とは厳しい。指摘の要点は吟じ起こし、二句三息、詩文の表現など、教室でも学ぶ吟詠の基本。畢竟、吟道奥義抄に基づく吟法の研鑽に尽きる。残念ながら碩心会から入賞者を出すことは出来なかったが、この口惜しさは次のステップアップに繋がると思う。

一般合吟で「初夏」司馬光に参加した私にとって、神奈川・静岡地区にまたがる吟詠大会は初めての体験。山に登って、更に高い山の連なりを見る思いであった。 常盤

詩吟と私

酔吟支部 山崎勝風

現役時代からの古い仲間である現在の師匠行谷先生、Sさんと3人で一献傾けた際に、「一緒に詩吟をやらなにか」と誘われた。

生来音痴を自認する自分には縁のない世界と思っていたが、飲むほどに酔うほどに話も弾み、二人で入会させて頂くことになった。

生徒二人、滝の坂支部蒲田教場逗子分教場とでも言うべき小さな教室が始まったのは、平成18年の早秋の頃と記憶している。

以来、行谷先生に熱心なご指導を頂き、歳月の経過とともに詩吟の奥深さや、吟ずることの難しさ、楽しさを学ぶことが出来た。

入会間もない頃、中国・桂林での漓江下りの観光船上で、芦ノ湖畔の小高い丘で、終電間際の駅のホームで等々、Sさんと人目を忍びながら？吟じた想い出の数々は枚挙にいとまがない。往時を偲び、懐かしく感じている。行谷師匠の、時には厳しく時には温かく、硬軟合わせた明快なご指導のもとに、練習は真摯に、反省会は欠かさず楽しく、酔吟支部に集う13名の素晴らしい仲間たちがいる。

練習日を心待ちにしている昨今である。詩吟に出会ったことで、残り少ない我が余生に、彩りを添えていただいた関係者に、心から感謝したい。

大会に出場して

紫陽花支部 吉田朋之進

6月8日(日)、金沢公会堂で行われた青少年吟詠大会に出場しました。幼稚園から高校生まで沢山の人が出場しました。幼稚園生は元気に吟じていました。僕は中学生の部に出場しました。

普段の稽古では大人の中に子どもは僕ひとりです。自分の吟のレベルが高いのか低いのかよく解りませんでした。だから僕は吟が上手だと思っていました。この大会に出場して、自分の吟のレベルを知る事が出来ました。

とても上手な中学生がいました。普段はどのような練習をしているのかな？何年くらい習っているのかな？いろいろな思いが浮かんできました。そして僕もこのような人になりたいと思いました。もつとたくさん吟を聴いてたくさん練習して、大会では聴いている人の心に響く吟を詠じていきたいと強く思いました。

【今回は学校の行事と重なり欠席者の多い中、頑心会からは吉田君1人の出場でした。舞台上での態度、吟詠も素晴らしく今後の活躍がとても楽しみです。伊藤】

会員の動き

- *入会 (3月1日付)
227 羽白昌平 (渚) 紹介者 原田岳義
逗子市桜山 9-2-36 電話 046-873-5061
- *入会 (5月1日付)
228 山崎清治 (篁風) 紹介者 高見湘岳
茅ヶ崎市小和田 1-13-24 電話 0467-51-1488
- *入会 (6月1日付)
229 高橋三雄 (真澄) 紹介者 池田昭岳
逗子市久木 2-8-35 電話 046-871-9220
- *退会
78 鈴木清岳 (一色) 170 松井淳泉 (真澄)
195 櫻井延支子 (澗朗) 216 鈴木道子 (渚)
- *支部長変更
滝の坂支部 行谷隆岳 → 角田有風

編集後記

平成26年の総会を終え、6月22日には新役員による全体会議が開催された。今年度の目標である吟技の向上と会員数の増強に向け、各部に別れ運営方針等熱心に話し合いが行われました。

広報部では「頑心」、「ホームページ」の更なる充実を図り、車(広報)の両輪として進んでいきます。広報部

26年7月1日現在会員数	
葉山地区	73名
逗子地区	114名
合計	187名